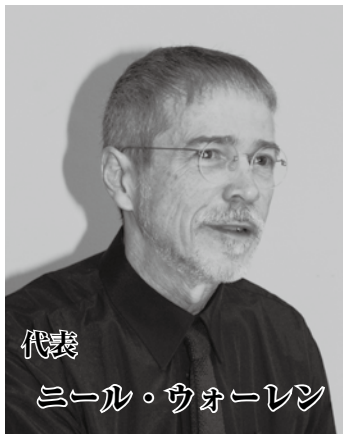


あらゆるプロジェクトで光る 洗練された建築デザイン



代表
川鍋 明弘



代表
ミール・ウオーレン

一級建築士事務所

株式会社 カワナベ デザイン (代表 川鍋 明弘)

東京都千代田区二番町一番地 番町ハイム 417号

TEL 03-3239-4250 FAX 03-3239-4192

N デザイン 有限会社 (代表 NEIL WARREN)

東京都文京区白山 2-1-7-209

TEL 090-2528-2640

DesignLINK

URL : <http://designlink-japan.com>

洗練されたセンスで、多くの建築デザインを手掛け、高い評価を得ている『カワナベ デザイン』と『N デザイン』。それぞれの代表である川鍋氏とミール・ウオーレン氏は、様々な建築プロジェクトに取り組み『デザインリンク』の代表も務めている。そんな両氏に、島田陽子さんがお話を伺った。

島田 まずはお二人の歩みから。

川鍋 押絵羽子板をつくる職人だった父の影響もあり、ものを作ることが昔から好きで、小学2年生の時にはすでに将来は設計の仕事をしたかと思っていました。私が小学5年生の時にワールドトレードセンターができて、それを越える世界一高いビルを設計することが将来の夢だと学校で発表したんです。ですから、昔からの友人に名刺を渡すと「言っていた通りの仕事をしているんだね」と言われますね。今は、目指している建築は全く違うものですが、ウオーレン アメリカのケンタッキー州出身です。私が13歳の時に、世界的な建築家であるフランク・ロイド・ライトが亡くなったのですが、その時彼の設計した建築がテレビで特集されているのを見て非常に感動し、将来建築家になることを決意したんです。来日のきっかけも、ライトが日本文化に影響を受けていると知ったからです。

島田 建築はどのようにして学ばれたのでしょうか。

川鍋 大学で建築を勉強したのですが、自分が学びたかったものとは少し違うと感じ、卒業後にアリゾナの「アーコサンティ」へ勉強に行きました。そこはイタリア人建築家で、彫刻家であり哲学者でもあるパオロ・ソレリの提唱のもとで砂漠の中に今でも建設が続けられている実験都市です。学びに来た人は彼の理論を学ぶだけでなく、

実際の建築作業もします。私はそこで1年ほど学び、建築家になる決心を新たに日本に戻ってきました。この経験は私の考え方に大きく影響していると思います。

ウオーレン まずアメリカの大学で建築を学びました。30年前に来日してからは、田舎の古い民家を見たり、陶芸の里をまわるなどして日本文化を学びました。その後は京都、それから東京に住み、大学で建築の勉強をしました。研究のために桂離宮などに何度も足を運びました。

島田 お2人はそれぞれの会社の他に、『デザインリンク』という設計チームで様々なプロジェクトに取り組んでおられるそうですね。詳しくお聞かせ下さい。

川鍋 私とウオーレンの2人が代表として、集合住宅・商業施設・オフィスビル・教育施設などの建築プロジェクトの設計・監理・マネージメントを行っている設計組織です。お客様の要望やプロジェクトの規模に応じてメンバーを組織し、最適な体制を構築しプロジェクトを進めています。外資系企業やインテリジェントビルなどの英語が必要なプロジェクトに対応できることも特長のひとつだと思います。

島田 どういった経緯で一緒にお仕事をされるように？

ウオーレン 以前同じ外資系設計事務所勤務していました。そこで多くのプロジェクトを2人で担当しました。またこの時期に、福井の古民家の骨組を利用した共有の別荘を長野に造りました。週末を利用して友人たちも巻き込んで、自分たちで工事までしました。現在は2人も独立してそれぞれの会社を持っていますが、大きなプロジェクトにも対応できるように同じ設計事務所出身者を中心に設計チームをつくることを考えました。それが『デザインリンク』です。川鍋さんとは考え方が合い、いっしょ

after the interview

「国内外で経験を積んで洗練されたデザインを身につけてほしい」というのが、川鍋さんへの期待です。最近では、国内外で経験を積んで洗練されたデザインを身につけてほしい」というのが、川鍋さんへの期待です。

島田 陽子
(女優)



島田 今後はどのような建築物を？
川鍋 今まで、住まう人、使う人同士のコミュニティを造ることを意識してきました。そうした温かみのある設計をしていくことが我々の仕事だと思っています。今後も、スタイリッシュな中にもどこかぬくもりがあり、安らぎを感じられ、長く滞在しても疲れない、そんな建物を造っていきたくと思っています。